



真岡市議会議員

お世話になります！



中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.44
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp

2月の大雪で被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。
(農業関連の支援策などについて中面に掲載いたしました)

一般質問が実現します！

その1 『自治基本条例』が施行されました

2月定例議会の最終日である3月14日(金)に「自治基本条例」が可決。4月1日から施行されることになりました。
この条例は、市民と行政がパートナーシップを組みながらまちづくりを進めるにあたって、誰がどんな役割を担い、どのような方法で決めていくのかを明文化したもので「自治体の憲法」とも呼ばれています。条例の文言では、情報の共有や市民参加・協働などの自治の基本原則、市民・首長・行政などの役割と責任、意見の広聴や住民投票など自治を推進する制度について定めています。
なお、全国では今年3月26日の時点で、308自治体で制定が報告されています(栃木県内では真岡市のほか、宇都宮市、栃木市、鹿沼市、日光市、矢板市、大田原市、下野市、高根沢町、芳賀町が制定)。

その2 『まちなか保健室』が開設されます

真岡市では、平成26年度に真岡駅前の空き店舗を活用して「まちなか保健室」が開設されることになりました。
この施設は、超高齢社会の急速な進行により、高齢者の方々の健康課題や社会的孤立の問題が懸念される中、気軽に立ち寄って健康のチェックや相談ができ、さらには交流・憩いの場としての役割も果たすものです。現時点の計画では、4月以降に店舗の改修工事に着手し、9月頃の開設を目標としています。
当初は真岡駅前のみですが、今後は市内数ヶ所でこうした施設を整備していくことも検討されています。

その3 『地域共助活動推進事業』がスタートします

中村は以前から、地域経済の活性化やボランティアの活動支援を目的とした「地域通貨」の導入を提案してきました。「地域通貨」は、ボランティアのサービスを受けた場合、相手方とポイントのやり取りをし、その一部は地元商店での買い物にも利用できるというものです。
真岡市では、この第一段階の取り組みとして「地域共助活動推進事業」をスタートさせます。これは、高齢者世帯が困っているごみ出しや買い物、清掃などに対して地域住民が支援を行った際にポイントを付与し、その後商品券に交換できる仕組みです。
高齢者に向けた活動に限られるため、ボランティアの有償・無償の線引きなどに課題が残るものと思われませんが、将来的に様々な分野のボランティア活動に範囲を広げ、理想的な形の「地域通貨」にしていければと考えております。

市民と市政のかけ橋になりたい！

☆お気軽にお声をかけて下さい。
お友達との井戸端会議、勉強会等。2〜3人でも結構です。どこへもお伺いいたします。

☆あなたのアイデアを市政にかしたい！
お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を！

「見逃した！」という方に
バックナンバーをお送りします

これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜43号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。こちらからお送りさせていただきます。

次回発行予定日

8月3日(日)

次回の「中村かずひこ通信」は発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。

2月定例議会報告 2/20 ▶ 3/14



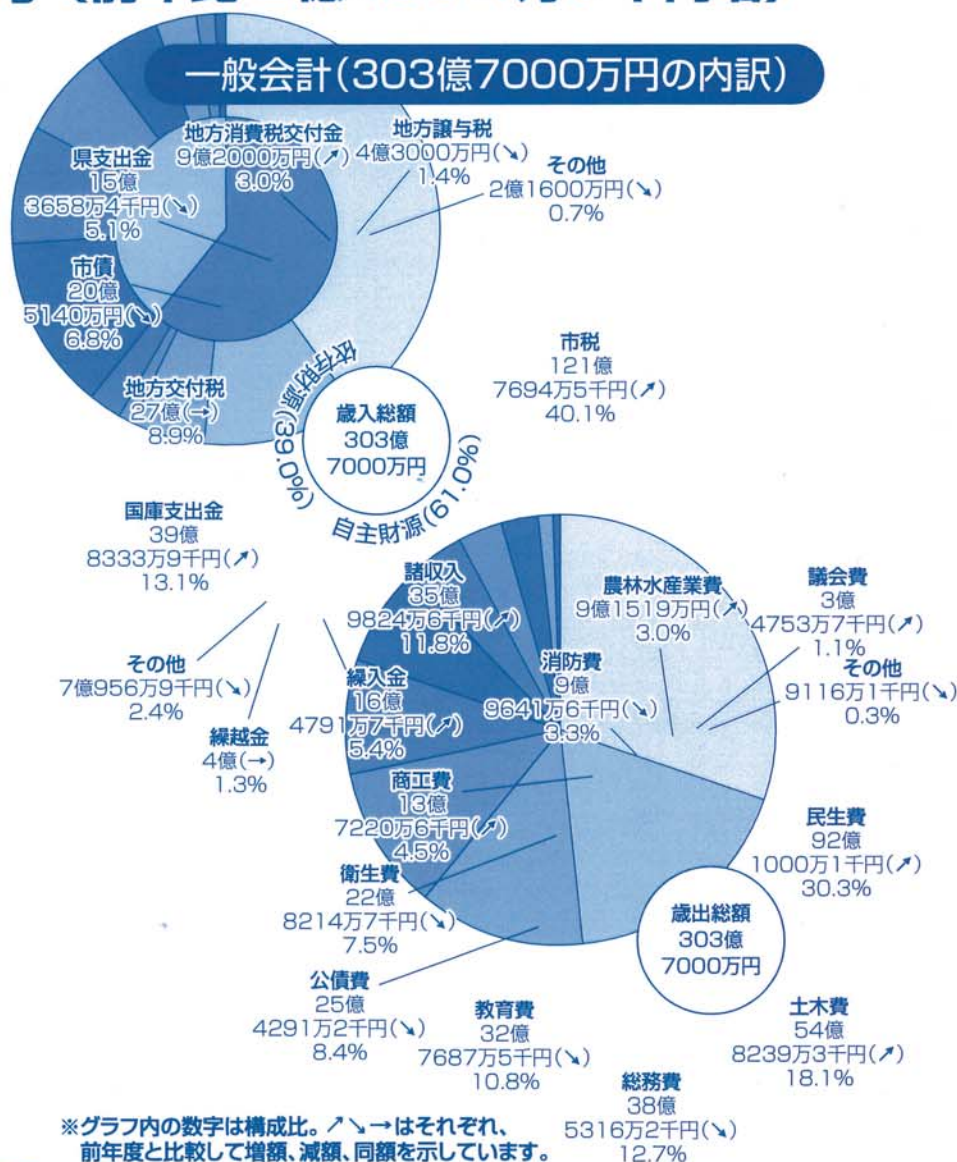
2月定例議会が2月20日(木)から3月14日(金)にわたって行われました。
今回執行部から上程された議案は「平成26年度当初予算」や「自治基本条例」の制定など計27件。さらに、議員案として「TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する意見書」や議員報酬5%を削減する「議員報酬及び費用弁償等に関する条例」の一部改正など計5件が出され、いずれも原案通り可決されました。
また、2月26日(水)、27日(木)の2日間行われた質疑・一般質問では9名の議員が登壇しました。

真岡市平成26年度当初予算が決定

総額は **508億115万円** (前年比3億1074万7千円増)

平成26年度 会計別予算額

| 会計名 | 当初予算額 |
|------------------|--------------|
| 一般会計 | 303億7000万円 |
| 国民健康保険 | 89億2274万円 |
| 後期高齢者医療 | 6億3140万2千円 |
| 介護保険(保険事業勘定) | 49億3158万2千円 |
| 介護保険(介護サービス事業勘定) | 1481万円 |
| インターチェンジ周辺開発事業 | 5億7190万6千円 |
| 公共下水道事業 | 26億5201万円 |
| 農業集落排水事業 | 4億6777万3千円 |
| 計 | 181億9222万3千円 |
| 水道事業会計 | 22億3892万7千円 |
| 合計 | 508億115万円 |



How much?

真岡市の市債償還予定額
(今後、市が返さなくてはならない借金)

一般・特別・水道事業+利子含む (平成24年度末現在) 総額 **533億8351万2千円**
(前年比11億2368万7千円減)

数字で見る真岡市 ~真岡市の市債(借金)の推移~

『中村かずひこ通信』では、毎年真岡市の当初予算が決定するのに合わせて、市の借金である市債の総額(一般会計・特別会計・水道事業会計の市債に利子を含めた額)をお伝えしてきました。

今回は、『中村かずひこ通信』に掲載されはじめた平成14年度末(ちょうど中村が議員になる直前の時期でもあります)から11年間における市債の推移を振り返ってみたいと思います。

合併前の状況

| 年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 |
|-------------------|--|----------------------------|---------------------------|--|-------------------------|--|--|
| 市債の総額 | 636億 6557万8千円 | 618億 2551万6千円 | 594億 437万円 | 565億 2148万円 | 556億 2349万3千円 | 549億 4156万円 | 603億 5633万6千円 |
| その年の出来事 | 行政評価システム導入 住基ネットがスタート 第5工業団地の造成に着手 | 足銀 経営破たん 1市4町による合併協議会発足 | 市制施行50周年 三位一体改革が実質スタート | 福田市政2期目スタート ミニ公債「もおコソ債」第1回発行 国道408号 真岡バイパス開通 | 救急医療センターオープン | 真岡小学校新校舎工事開始 市民活動推進センターオープン 北関東 真岡 IC 開通 | あくりっ娘・木綿会館がオープン 「住みよさランキング」で全国3位に リーマンショック |
| 当初予算の総額と 財政力指数 | 437億6883万3千円 (0.838) | 428億1640万1千円 (0.862) | 431億1394万4千円 (0.926) | 422億4121万6千円 (0.973) | 398億6531万1千円 (1.018) | 455億1823万7千円 (1.171) | 416億4035万3千円 (0.986) |

合併後の状況

| 年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 |
|-------------------|---|--|---|--------------------------------|
| 市債の総額 | 576億 3090万円 | 563億 3291万円 | 545億 719万9千円 | 533億 8351万2千円 |
| その年の出来事 | コマツ撤退 市立図書館に指定管理者制度導入 井田市政1期目スタート | 水道・給食業務の一部を民間委託 青色回転灯搭載車出発式 東日本大震災 | いちごタクシー運行開始 観光ネットワーク事業開始 芳賀地区エコステーション工事開始 | 西田井地区を中心に竜巻発生 コトバリー一号試験運行開始 |
| 当初予算の総額と 財政力指数 | 467億6881万7千円 (0.928) | 477億3643万7千円 (0.815) | 488億9169万3千円 (0.804) | 500億3347万2千円 (0.826) |

ちなみに、真岡市の市債が最も多かったのは平成12年度でその時の金額は **651億1936万6千円** でした。



※平成25年度の市債の総額が確定するのは、今年9月定例会議の時期になります。
※財政力指数とは、基準財政収入額(標準的な地方税収)を基準財政需要額(行政事務の必要経費)で割った数値の過去3年の平均値。数値が高いほど財政力が豊かな団体と見られ、1を超えると普通地方交付税の不交付団体となります。

大雪による農業被害と支援策

2/14~15の大雪による農業被害
(平成26年3月28日現在)

【農業施設被害状況】

| | 全壊 | 大破 (70%) | 中破 (50%) | 小破 (30%) | 合計(棟) | 被害額 |
|------|-----|-------------|-------------|-------------|-------|-------------|
| 施設棟数 | 187 | 316 | 40 | 21 | 564 | 10億1173万2千円 |

【農作物被害状況】

| 農作物 | 被害面積(ha) | 被害額 |
|------|----------|------------|
| いちご | 6.47 | 2億2113万3千円 |
| トマト | 0.55 | 1962万5千円 |
| きゅうり | 0.57 | 1029万8千円 |
| にら | 0.55 | 479万2千円 |
| なす | 0.28 | 510万3千円 |
| その他 | 1.15 | 530万8千円 |
| 計 | 9.57 | 2億6625万8千円 |

被害合計額 12億7799万円

市議会としての対応

この度の大雪による被害を受けて市議会では議員協議会などで対応を協議。

2月21日(金)に、井田市長に対して「大雪による被害対策に関する要望書」を提出しました。



要望書の主旨

1. 今回の大雪による被害の甚大さに鑑み、市内全域における被害状況を把握し、迅速にその対策を講じること。
2. 農作物及び農業施設等の被害状況を把握し、施設復旧のための助成制度を国・県等に要望するなど、復旧に関する支援措置を講じること。
3. 降雪に対し、より確度の高い迅速な提供に努めるとともに、雪害対策を速やかに真岡市地域防災計画に盛り込むこと。

具体的な支援策について

1 農業用施設(鉄骨ハウス、パイプハウス等)の復旧補助事業

補助率(国50%、県20%、市30%)

対象・留意事項

- (1) 経営を再開しようとする被災農業者(自家消費や家庭菜園の生産者は対象外)
- (2) 事業経費10万円(税込)以上であること。
- (3) 市税等を完納していること。
- (4) 施設再建に伴う建て方費用は、原則業者に発注する場合には限られる。
- (5) 既に耐用年数を経過した施設についても、再建・修繕の対象に含まれる。

対象外となるもの...

- ・農業生産に必要な施設以外のもの(農産物の加工・販売に関する施設等)
- ・附帯・補完的器具(育苗箱・パレット・コンテナ・運搬台車等)
- ・消耗品(トンネル・マルチ・燃料・農薬・肥料等)



2 農業用施設(鉄骨ハウス、パイプハウス)の撤去・運搬・処分への補助

補助率 定額助成(国50%、県25%、市25%)

定額助成の単価

- ・ガラスの鉄骨ハウス.....1200円/㎡(上限)
- ・ビニール等の鉄骨ハウス.....880円/㎡(上限)
- ・畜舎.....4500円/㎡(上限)
- ・ビニール等のパイプハウス.....290円/㎡(上限)
(自力撤去以外)
- ・ビニール等のパイプハウス.....110円/㎡(上限)
(自力撤去)

対象・留意事項

- (1) 経営を再開しようとする被災農業者(自家消費や家庭菜園の生産者は対象外)
- (2) 市税等を完納していること。
- (3) 営農を継続するのであれば、施設を再建せずに、撤去のみでも事業の対象に含まれる。
- (4) 既に耐用年数を経過した施設についても、撤去の対象に含まれる。

3 被害農作物の取り片付けに関する補助

補助率 定額助成(県50%、市50%)

定額助成の単価

- ・いちご・トマトの片付け作業費.....40800円/1000㎡(上限)
- ・いちご・トマト以外の野菜の片付け作業費.....27200円/1000㎡(上限)

対象・留意事項

- (1) 農作物の被害が70%以上であること。
- (2) 経営を再開しようとする被災農業者(自家消費や家庭菜園の生産者は対象外)
- (3) 雇用による作業労賃の支払いであること。
- (4) 片付けした農作物の処分経費は対象外。

4 園芸作物用苗の購入費の補助(市単独補助)

補助率 1000㎡当たり 30%補助

対象・留意事項

- (1) 経営を再開しようとする被災農業者(自家消費や家庭菜園の生産者は対象外)
- (2) 大雪災害による本圃の被害面積分の苗の購入経費についてのみ対象(被害を受けた育苗施設の苗は対象外)
- (3) 市税等を完納していること。

【お問い合わせ】

真岡市農政課
☎ 0285-83-8139

コラム ずーむあっぴ

『自治基本条例』制定を経て ～協働のまちづくりをどのように進めるか～

2月定例議会の最終日である3月14日(金)、『自治基本条例』が可決した。この条例について、私が初めて市議会ですその必要性を訴えたのは、平成18年2月に行われた定例議会であるから、約8年の歳月を費やして実現を見たということになる。

この『自治基本条例』は、まちづくりを進めるにあたって、誰がどんな役割を担い、どのような方法で決めていくのかを明文化したもので、自治体の基本的ルールを定めた条例。一般的に“自治体の憲法”とも言われる。“市民と行政の協働によるまちづくり”ということが叫ばれて久しいが、市民と行政では物事の進め方や考え方が異なるケースが少なくなく、お互いが共通認識を深めながらまちづくりを進める上で、この条例は不可欠なものとは私は考えている。

しかし、今回の条例制定までに至る過程を見ると、大きな課題が残ったのも事実である。

真岡市では、平成23年1月に市民・行政・議会の関係者などにより『自治基本条例検討市民会議』を立ち上げ、それ以降2年以上にわたって条例案について検討が進められてきた。ただし、議会に上程された議案を見ると、市民会議が取りまとめた素案について行政側で修正を加えたものであった。

無論、市民会議が作成した素案について、行政側が疑問を抱いたとしても不思議ではない。しかし、そうであれば、まずは市民会議に参加している職員などを通じて、行政側の考えを伝え、素案づくりに反映させる努力はもっとすべきだったのではないだろうか。市民・行政・議会の関係者が同じテーブルで話し合うという、これまでは見られなかったユニークな形式をとり、約30回に及び会議を行ってきただけに、会議の後に「はじめから結果ありき」のような修正案を行政側が示したことは、反省材料であると言わざるを得ない。

とは言え、“真岡市の憲法”は可決、4月1日から施行された。それ自体は大いに歓迎すべきことである。

条例の第8条第3項に、このような文言がある。

市は、市民がまちづくりに参画・協働しやすい仕組みづくり及び積極的に参画・協働する人材の育成に努めるものとする。

真岡市において「市民がまちづくりに参画・協働しやすい仕組みづくり」というものを考えた時、見直すべきことがあるように思われる。その代表的なものが行政機構である。

現状を見ると、自治会活動は総務課が、地域公民館や男女共同参画は生涯学習課が、そしてNPOやボランティアなどの市民活動は安全安心課が担当しており、実際に地域の中の活動に参加をしてみると大変に分りづらく、縦割りの弊害を感じることも多々ある。今後「協働推進課」のようなものに再編して、協働に関する部署を一元化すべきではないかと考える。

先に述べた通り、真岡市で今回制定された『自治基本条例』は、制定過程において様々な課題が見られたが、その文言の1つ1つを見てみると、協働のまちづくりを進めるにあたって、取り組むべきことは非常に多いと改めて思うのである。

料金受取人払郵便

真岡局承認

531

差出有効期間
平成27年10月
26日まで
(切手不要)

3 2 1 4 3 9 0

真岡市熊倉町3423-4

真岡市議会議員

中村かずひこ行



市政アンケート

差し支えなければ、お名前、ご住所等もご記入ください。

| | |
|------|--------|
| お名前 | |
| ご住所 | (〒 -) |
| お電話 | |
| Eメール | |

今年、真岡市は
市制施行60周年です

市制施行60周年記念事業について

60周年記念事業キャッチフレーズ **心を一つに60年 豊かに真岡 人・夢・未来**

これまでの流れ

- 平成25年1月下旬 記念事業の内容について公募を行う。
～4月9日 (応募総数140)
- 8月12日 各種団体の代表者や公募委員など総勢65名による「真岡市制施行60周年記念事業実行委員会」が発足。この日第1回会合が開かれる。
- 8月中旬 記念事業のキャッチフレーズについて公募を行う。
～9月30日 (応募総数457)
- 11月28日 「真岡市制施行60周年記念事業実行委員会」の第2回会合において、記念事業の内容、キャッチフレーズなどを協議。
- 12月中旬～ 市内小・中学生及び高校生を対象に記念事業の
平成26年1月31日 ロゴマーク募集(応募総数89)。
- 3月14日 市議会の2月定例議会最終日において平成26年度の真岡市当初予算が可決。
- 市制施行60周年記念事業費 4460万円**
- 3月28日 「真岡市制施行60周年記念事業実行委員会」の第3回会合において、ロゴマークなどについて協議。

60周年記念事業の内容と日程

- 5月上旬 真岡鉄道気動車ラッピング
25日 乙武洋匡氏 教育講演会
- 6月中旬 コットベリー記念グッズ製作・配布
- 7月上旬 60周年記念街路旗等掲揚事業
- 9月下旬 記念切手発行 ※記念式典等で配布
- 10月1日 市政功労者表彰式特別コンサート
1日 60周年記念特集 新聞紙面掲載
5日 60周年記念ヘッドマークSL運行
12日 真岡木綿ファッションショー
- 11月1日 「未来の真岡市」小学校作文コンクール
1日 「60年の歩み」写真展(11/8まで)
1日 もおか「人・夢・未来」フェスタ(仮称)
2日 台湾斗六市民族舞踊団公演
16日 真岡駅キューロク館イルミネーション(1/31まで)
- 12月13日 ベートーヴェン第九演奏会
下旬 タイムカプセル
- 1月下旬 真岡市の未来を考えるシンポジウム
2月15日 とちおとめを使って60mのロールケーキを作ろう

その他の記念事業

- 5月3～6日 SLキューロク館開館
1周年イベント
- 7月6日 NHK交響楽団コンサート
- 10月5日 ねんりんぴっく栃木2014
マラソン交流大会
- 11月28-29日 第20回全国報徳サミット
- 12月11日 NHK「BS日本のうた」
公開収録 など

ご存知ですか? 市制施行60周年記念協賛事業を募集中です

真岡市では、市民や市内の市民団体及び企業等の主催で実施している事業のうち、多くの市民が参加できる事業(平成27年2月28日までに実施されるもの)を、市制施行60周年記念協賛事業として募集しています。

【お問い合わせ】真岡市企画課
☎ 0285-83-8102

中村かずひこと未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は中村までご連絡下さい。

(振り込み先)

真岡信用組合本店 普通口座 2099671

中村かずひこと未来をつくる会 代表 中村和彦

アンケートにご協力をお願いします

「市民アンケート」皆様の声をお聞かせ下さい。

下のハガキを書いて ▶ 切り取って ▶ ポストへ投函
(投函する際、切手は不要です。)

市政アンケート

「やるなら今でしょう!」

あなたが考える真岡市の課題をお聞かせください。

キリトリ線

中村かずひこと活動日誌

| 1月 | |
|--------|---|
| 7日 | 賀詞交歓会 |
| 11日 | 真岡市消防団出初式 |
| 12日 | 成人式 大谷地区冬まつり |
| 15日 | 会派定例会 |
| 17日 | サクシードカフェ(於:宇都宮市) |
| 19日 | 「伊夜日子会」奉仕作業 八月の会「今、次世代に伝えたいこと」 |
| 20日 | あいさつボランティア |
| 21日 | 議員協議会 |
| 21~22日 | 全国若手市議会議員の会研修会 (於:千葉県千葉市ほか) |
| 22日 | 真岡青年会議所総会 |
| 23日 | 石坂真一県議「新春の集い」 |
| 24日 | 出納検査、定期監査 |
| 27日 | あいさつボランティア |
| 28日 | とちぎローカルネットワーク 「野嵐会」教育部会(於:矢板市) |
| 29日 | 真岡市遺族会連合会新年会 |
| 30日 | 杉原弘修・宇都宮大学名誉教授と面会 (於:宇都宮市) |
| | 芳賀郡市監査委員研修会(於:芳賀町) |
| 31日 | とちぎローカルネットワーク 「野嵐会」役員会(於:鹿沼市) |
| 2月 | |
| 1日 | 市道107号線開通式 |
| 2日 | 大谷地区「健康ウォーキング」(於:栃木市) |
| 3日 | あいさつボランティア |
| 4日 | 真岡中学校立志式 |
| 6日 | 小美玉市立野田小学校視察 (於:茨城県小美玉市) |
| 9日 | 西田文郎氏講演会 |
| 10日 | あいさつボランティア 議員協議会 |
| 12日 | コミュニティカフェ花の丘視察(於:高根沢町) |
| 13日 | 議員協議会 会派定例会 |
| 15日 | 大谷広報編集会議 |
| 16日 | 出世稲荷神社二の午祭 |
| 17日 | あいさつボランティア |
| 18日 | 「ひばりの会」定例会 |
| 20日 | 2月定例議会開会、議員協議会 出納検査、定期監査 |
| 22日 | 「ほのぼのRin」ヨガ教室視察(於:宇都宮市) |
| 23日 | 湯澤英之・鹿沼市議「新春の集い」 |
| 24日 | あいさつボランティア |
| 25日 | 湯澤英之・鹿沼市議と面会 |
| 26日 | 質疑、一般質問1日目 |
| 27日 | 質疑、一般質問2日目 |
| 3月 | |
| 2日 | 真岡自然観察会役員会 |
| 3日 | あいさつボランティア |
| 4日 | 民生産業常任委員会 |
| 8日 | とちぎローカルネットワーク「野嵐会」 選挙予定者陣中見舞い(那須町ほか) |
| 10日 | あいさつボランティア 真岡中学校卒業式 |
| 12日 | 予算審査特別委員会、議員協議会、 会派定例会 |
| 14日 | 2月定例議会閉会、議員協議会 |
| 15日 | 真岡自然観察会 |
| 16日 | 「伊夜日子会」奉仕作業 やまさわの里避難訓練 |
| 17日 | 逗子市議選の応援(於:神奈川県逗子市) |
| 18日 | 高久勝・那須町長出陣式(於:那須町) |
| 19日 | 真岡西小学校卒業式 |
| 20日 | 出納検査、定期監査 |
| | 小川巨・小山市議らと面会(於:小山市) |
| 22日 | 「伊夜日子会」総会 |
| 23日 | 熊倉四区総会 |
| 24日 | あいさつボランティア |
| 26日 | やまさわの里役員会 |
| 27日 | 真岡青年会議所OB会総会 |
| 28日 | 岡英彦・全国若手市議会議長の会会長と面会(於:北海道札幌市) |
| 30日 | 熊倉四区女性防犯防火クラブ総会 大谷子どもお囃子会総会 |

頂いたご意見は全て拝見し、今後の活動に活かしてまいります。
ご協力ありがとうございました!

